

## ○お詫びと訂正○

ハートナーシング35巻12月号におきまして、編集室での不手際により、下記の内容に誤りがございました。著者ならびに関係者の皆さま、読者の皆さまに謹んでお詫び申し上げますとともに、ここに訂正いたします。

特集『現場目線でまとめた 心カテ前～中～後のつかえるケアポイント』

特集7 p. 49 「ココが危ない」7行目にて文章の誤り

### 【誤】

医師は治療中、手技に集中しており、また管球の光が妨げとなることで患者さんの表情を常に観察することは難しいです。

### 【正】

医師は治療中、手技に集中しており、また管球が妨げとなることで患者さんの表情を常に観察することは難しいです。

特集『現場目線でまとめた 心カテ前～中～後のつかえるケアポイント』

特集7 p. 57 「4. 下肢動脈閉塞症の治療にて」表1のキャプションにて案内の誤り

(Fontaine 分類の表を追加)

### 【誤】

CLTI は糖尿病や腎不全の患者さんに多く、症状は虚血を合併した下肢末端の安静時の痛みと潰瘍・壊疽<sup>7)</sup>で、Fontaine分類ではⅢ、Ⅳ度、Rutherford 分類では4、5、6 群に相当<sup>7)</sup>します(表1)。

表1 Rutherford 分類

0 群	無症状
1 群	軽度の間歇性跛行
2 群	中等度の間歇性跛行
3 群	重度の間歇性跛行
4 群	虚血性安静時疼痛
5 群	小さな組織欠損
6 群	大きな組織欠損

Fontaine 分類はp. 17を参照ください。

### 【正】

CLTI は糖尿病や腎不全の患者さんに多く、症状は虚血を合併した下肢末端の安静時の痛みと潰瘍・壊疽<sup>7)</sup>で、Fontaine分類ではⅢ、Ⅳ度、Rutherford 分類では4、5、6 群に相当<sup>7)</sup>します(表1、2)。

表1 Fontaine 分類

分類	症状
I 度	無症状
II 度	間歇性跛行
III 度	安静時疼痛
IV 度	潰瘍・壊死

表2 Rutherford 分類

0 群	無症状
1 群	軽度の間歇性跛行
2 群	中等度の間歇性跛行
3 群	重度の間歇性跛行
4 群	虚血性安静時疼痛
5 群	小さな組織欠損
6 群	大きな組織欠損